



●本日の例会/ 2012年 7月 6日 第1215回

「就任のご挨拶」

会長 尾関 武男 氏  
副会長 清水 實 氏  
幹事 飯島 規之 氏

「就任のご挨拶」

会長 尾関 武男

2010年11月会長ノミニーの指名を受け、ロータリーに入会している以上、受諾するのは当然であり、何の疑いもなく考えておりました。



しかし、ご存じの通り、昨年3月11日東日本大震災が発生し、津波・原発と甚大な被害が報じられ、正直、これはロータリーどころではなく、自分の会社、お得意様、社員、家族等々、この先どうなるか見通しが立たない心境でした。

その様な中で、6月18日の現地視察グループに加わり、被災地の惨状を目の当たりにし絶句した次第です。少々昔にタイムスリップしますと、ロータリーの奉仕活動の発端となりましたのは、東京ロータリークラブが1923年関東大震災発生直後からアメリカを始め世界各国のロータリークラブから寄せられた、当時の貨幣価値としては8万9千円という多額の義損金が寄せられたそうです。私は、高須年度には、くしくも社会奉仕委員長を指名され、更には昨年の25周年記念事業委員長を仰せつかりましたこともあり、今こそロータリアンとして何かお役に立つことが出来るのかと思い、陸前高田1本松運動に参加致しました。

さて、今年の田中作次R I会長のテーマは「奉仕を通じて平和を」と発表されました。つまり人を助けることが平和に繋がることになると説いています。そこで、第2750地区ガバナー佐久間氏は更にロータリーは奉仕活動だけでなく、すべての活動を「楽しもう」と運営方針を掲げられました。赤坂ロータリークラブは今年から26年目のスタートが始まります。親愛なる会員の皆様と力を合わせ、強い絆と信頼のもと、楽しく、目の前の僅かなことからでも助け合い精神で、奉仕クラブとして魅力ある活動を行って参りたいと思い、今年度のクラブテーマは「僅かなことにも手を差し伸べよう。そして信頼と絆」と致しました。そこで我がクラブの現状を見ますと直面している課題として、財政面においては、未だ厳しい状況かと思わ



れます。引き続き、しっかりと財政を把握して、収支のバランスを計っていきたいと思っております。又、毎月の例会には一人でも多く出席をして頂けるよう、楽しくアットホームなクラブを目指すよう、皆様の協力を頂き、努力致す所存でございます。願わくは、財政基盤を盤石なものとする為にも、会員の増強維持がもっとも重要なことと考えており、一人でも多く会員一丸となって増強維持にご協力をお願いする次第です。

この他、すべきことは盛り沢山ですが、欲張らず、出来ることから、お互い貴重な時間と会費を負担していますので、着実に、そして何よりも楽しくできることが基本です。どうか皆様一年間よろしくお願い致します。

「就任のご挨拶」

副会長 清水 實

本年度の副会長を務めさせていただくことになりました。力不足ですがよろしくお願ひいたします。尾関会長は素晴らしいリーダーシップで引っ張ってくれますのでその交通整理、方向確認、飯島幹事は地道に、しかし決めたら矢張り突っ走るタイプなのでそのあたりの調整が私のお役目かな、と考えております。

昨年度は東日本大震災と赤坂RC 25周年記念事業と大変な年度でしたが、それをスマートにやり遂げた前執行部には感謝し、敬服いたします。本年度も東日本復興のための事業は継続いたしますし、陸前高田の一本松は息の長いプロジェクトです。身近な財政問題、会員増強や出席率の問題等、やらなければならないことは山ずみですが、やるしかありません。

本年度のR Iのテーマは「奉仕を通じて平和を」R I 2750地区ガバナーは「楽しもう」を運営方針にあげておられます。そして我がクラブのテーマは「僅かなことにも手を差し伸べよう。そして信頼と絆」です。

副会長はクラブ管理運営委員会を統括する任務がありますので、まず例会を楽しく参加していただけるようクラブ会報、親睦活動、プログラム、S A A、ソングリーダーをサポートし、盛り上げていきたいと考えます。

R Cの良さは伝統的に優れた組織、しっかりと手手続き要覧があり、1年ごとに役員が変わってもぶれない組織・運営にあります。でも今は、伝統は大事にしながらもクラブ独自に良いと思うことにチャレンジして改善していくこう、という時代になりました。新しい改善には前向きに挑戦して、楽しく例会に出席して親睦を深め、奉仕を通じて世界の平和を目指しましょう。

## 「就任のご挨拶」

幹事 飯島 規之

前任の尾上幹事の後を受け、今年度幹事に就任いたしました。これから1年間、役員の皆様と共に、クラブ運営に携わる事になります。全てのクラブメンバーのご協力よろしくお願ひ致します。尾関会長、清水副会長、各委員長、皆様の優れた企画活動をサポート出来る様に皆様のご支援をよろしくお願ひ致します。赤坂ロータリークラブの名誉と伝統を守れる様、全員の力を結集する事で、素晴らしい赤坂ロータリークラブが発展出来るものと思っています。皆様のお力を借り、幹事という責務を達成出来る様、努力致します。

過去の「ロータリーの友」の中に、忘がたい文章がありました。「ロータリアンたる者、いたずらに、慈善事業、社会奉仕、職業奉仕に憂き身をやつすことなかれ」これは、慈善事業、社会奉仕、職業奉仕、これらの実践を否定するものではありません、しかし、それに憂き身をやつしてはならない、ということです。

慈善事業、社会奉仕、職業奉仕、これらは、ロータリアンでなくても出来る事です。ロータリーの方向性は、心の開発であり、それによって自分の職業を安定させ、かかる後、余裕があれば、慈善事業、社会奉仕、職業奉仕を、つまりロータリーの職責、職務を実践しましょう。

お互いにロータリアンとして、職責、職務を超えて、納得出来る環境にしていきましょう。多いに意見を交換し合い、赤坂ロータリークラブを伝統あるクラブへと盛り上げて行きましょう。

皆さんよろしくお願ひいたします。

## 7月行事予定

3日(火)	火曜会 ANA インターコンチネンタルホテル東京 ミックス&バーラウンジ	18:30~
5日(木)	地区役員・委員長並びにホーム・クラブ 理事 関係者「佐久間年度キックオフパーティー」 ザ・プリンスパークタワー 18:00~	
6日(金)	第1215回例会 就任のご挨拶 会長 尾関 武男 氏 副会長 清水 實 氏 幹事 飯島 規之 氏	
	定例理事会 1F「かげろう」 13:40~15:00	
12日(木)	第1回クラブ会長・幹事会 目黒雅叙園「舞扇」の間 16:00~20:30	
13日(金)	第1216回例会 卓話: ジャーナリスト 田原総一朗氏	
20日(金)	第1217回例会 第2回クラブ協議会 13:10~14:30 「会員増強と維持について」	
25日(水)	暑気払いの会 18:30~ TOKYO Trattoria T(てい) Tel: 03-5777-5557	
27日(金)	第1218回例会 卓話: キネマ旬報社 会長 小林 光 氏	

## ●前回報告／2012年 6月29日 第1214回例会

### 第1部 夜間例会

#### 「退任の挨拶」

(右) 高須会長挨拶

(左下) 庄司副会長挨拶

(右下) 尾上幹事挨拶



2011-2012年度最終の例会および打ち上げ会が多数のご家族・ご同伴の出席のもと盛大に行われました。例会では高須会長、庄司副会長、尾上幹事の退任のご挨拶をいただきましたが、1年間の重責を終えた安堵からかいつもよりも饒舌に感じられたのは気のせいでしょうか。

例会に引き続いての打ち上げ会は柴本会員の発声による乾杯でスタート、美味しいコース料理をいただき、「赤坂カルテット+ (プラス)」とジャズシンガーの高島みほ氏の素晴らしいパフォーマンスで大いに盛り上がりいました。新旧三役によるエールの交換に続いて、恒例の「手に手をつないで」で場は最高潮となりました。

なおこの日は、大変残念ですが柴本会員の最後の例会出席でもありました。「赤坂カルテット+」では柴本会員への花束贈呈が行われ、柴本会員からクラブそして会員への力強く大変温かい激励のお言葉がありました。また、閉会後は女性陣に囲まれての記念撮影等で柴本会員の周りからは人垣が絶えませんでした。

今回の例会および打ち上げ会は年度の締めくくりに相応しく賑やかな会となりました。高須会長、庄司副会長、尾上幹事、理事・役員の皆様、本当に疲れ様でした。  
(関記)

#### 尾関次年度会長報告 :

6月23日～25日、韓国  
公山城RC離就任式へ参加  
してまいりました。  
記念品を贈呈し盛大に歓  
迎いただきました。



**出席報告 :** 会員44名／出席25名・欠席19名

**ご家族・ご同伴者 :** 橋本啓子、石井喜子、岩上曜子、開  
発知代、尾上和美、小原栄子、尾関  
文代、島本崇子、庄司佐代子、関利  
香、関理桜、高須貴久代、吉岡登美  
子、高橋清 計14名(敬称略)

## ●次回予告／2012年 7月 13日(金) 第1216例会

卓話予定 : ジャーナリスト  
田原総一朗 氏

## 第2部 打ち上げ会 報告



乾杯：柴本会員 司会：清水親睦委員長



＜イベント＞  
JAZZシンガー  
高島みほ氏によるパフォーマンス



赤坂カルテット+（プラス）



新旧会長・副会長  
幹事エール交換



6月29日(金)／ 19件 57,000円 累計 1,195,000円 多額の寄付を有難うございました。

高須康有/いよいよ最終例会となりました。皆様1年間大変お世話になり、ありがとうございます。庄司泰典/本日で副会長卒業です。皆様1年間ありがとうございました。尾上寛/一年間、本当にお世話になりました。皆様のおかげで幹事を務める事ができました。柴本芳郎/私にとって最後の例会。赤坂RCの一層の発展を願って。大日方真/今年度はすばらしい1年でした。高須会長はじめ皆様に感謝。入沢頼二/25周年初め、高須年度のご活躍を讃えて、お疲れ様でした。吉岡琢磨/高須年度大変盛り上がり、楽しい一年でした。竹本さん早く必ずカムバック待ってます。尾関武男/高須会長、庄司副会長、尾上幹事一年間ご苦労様でした。私事、次年度よろしくお願ひします。岩上義明/高須会長、庄司副会長、尾上幹事はじめ理事・役員の皆様、一年間お疲れさまでした。本日の打ち上げ例会楽しみにしておりました。お陰様で我社の貸ビルも全館フル活動となりました。ありがとうございます。村山公士/高須年度お疲れ様でした。公山城RCの離就任式、おどろいてきました。石井謙次/高須会長、庄司副会長、尾上幹事1年間ご苦労様でした。田村昭二/高須年度、熱い一年間お疲れ様でした。西澤民夫/高島みほさん、楽しみにしています。よろしくお願ひします。清水寛/皆様一年間お疲れ様でした。来年も楽しくやっていきましょう。橋本年男/高須会長、庄司副会長、尾上幹事、1年間お疲れ様でした。お陰様で楽しいロータリーライフを送る事が出来ました。次年度尾関会長、清水副会長、飯島幹事、頑張って下さい。小林博茂/会長、副会長、幹事殿、そして各委員長殿一年間ありがとうございました。次期は来週から新内閣で始まります。決められる内閣で行きましょう！吉田用親/高須会長、庄司副会長、尾上幹事、それに理事・役員の皆様一年間、お疲れ様でした。穂苅裕久・関陽一/高須会長、庄司副会長、尾上幹事はじめ役員の皆様お疲れ様でした。竹本さん、お疲れ様です。竹本孝三郎/高須会長年度を支えた皆さん、お世話様でした。充実の1年のように、この年度末に赤坂RCが大きく見えます。

# 6/23~6/25 韓国公山城 RC 訪問報告

6月23日、姉妹クラブである韓国公山城ロータリークラブの離就任式に参加して参りました。その様子を報告するとともに、その前後に見聞した周辺の風景などについても報告致します。参加者は尾関次年度会長、飯島次年度幹事、入沢さん、西澤さん、村山、そしてガイドも兼ねて朴さんの総勢6人でした。

当日の早朝羽田空港から一路韓国金浦空港へ向かい、入国手続きを終えて、空港の外に出た途端、あまりの暑さに唖然としてしまいました。この1ヶ月まったく雨が降らず、初夏を経ずに一気に夏の天候になってしまったそうです。出迎えのマイクロバスで、空港から公山城へ、途中一回の休憩のみで、一気に突っ走る。ソウル市内が少し混んだ程度で3時間半ほどで目的地に到着しました。宿泊予定のホテルに一旦立ち寄ると、そこにはパスト会長をはじめ6、7人の公山城RCの方々が出迎えに来っていました。相変わらず丁寧なのに感心させられます。時間があったので、近くにある「石壮里博物館」を案内してもらいました。ここは旧石器時代の遺跡が発掘された所で、数十年来発掘が進められていたのだが、ようやく発掘も終り、発掘された石器類を始め、たくさんの展示物や資料を公開するために博物館が建てられたということで、川沿いの景色の素晴らしい場所で、一見に値します。多少時間は早かったが、離就任式会場に向かいました。会場は街の中の結婚式場を借りきったもの、建物の入り口から階段はもちろん2階の会場の入口まで献花がずらりと並べられ、壯觀である。会場中央の演壇には豪華な花が飾られ、天井からは祝離就任式の巨大な垂幕が下がっている。司会席では、今年度、次年度の幹事がしきりにアナウンスのテストをしている、如何にこの行事を大事しているかが伺えました。時間とともに参加者が集まり始め、気が付くと会場は満杯、悠に200人を超える参加者でした。ファンファーレが高らかに鳴り、今年度会長ご夫妻、次年度会長ご夫妻の入場である。我国の地区大会でも敗けてしまいそうな派手な演出にはびっくりしました。国歌演奏ではしっかりと「君が代」も用意されており、ロータリーソングも「ROTARY」で、我々も一緒に歌うことができました。来賓紹介では、地区ガバーはもちろん、市長、国會議員、市議員、近隣ロータリーの会員、団体の代表など、実に多彩である。今年度会長の退任のあいさつ、そして各種表彰など、イベントが一つ行われる度に高らかにファンファーレが鳴ったり、行進曲がかかったりで大変な盛り上がりである。今年度から次年度へ会旗やバッジなどが手渡され、移行の手続きが厳かに行われ、晴れて新しい年度がスタート致します。新年度会長の挨拶、ガバナーのお祝いに続き、当クラブの尾関次年度会長がお祝いの言葉が述べ、会場も一段と盛り上りました。家族の表彰、地域の各種団体の表彰、地元の奨学生の紹介など地域との交流の深さには、感心させられました。式典は1時間も続いたらどうか、やっと終わり、ディナーの時間となった。



来客紹介



尾関会長の祝辞



乾杯



新旧会長交代式

これがまた驚いたことに、広い会場の半分ほどがディナー用スペースとして確保されており、料理がざらりと並び、セレモニー会場のテーブル席とは別に新たにテーブルが追加され、盛大に宴会が始まり、そこそこで乾杯や返杯が行われる様には圧倒されました。支援団体の知的障害者による太鼓の演奏などがあって、最高潮に達すると、いよいよ最後はカラオケである。我が家にマイクを握る、これがまた上手い、のりがいい、いつの間にかマイクの前には大勢集まり、踊ったり跳ねたりしている。やっと式が終わって会場を出ると、今度は我々のためだけに二次会を用意してくれていた。後始末の済んだ若い会員もぞくぞく集まり、本当に手厚いおもてなしに感激致しました。

翌朝は、前回訪問の際に宿泊したオンドルが売りの公州韓屋村の中にあるレストランで公山城RCの会員と一緒に朝食会、朝早くから10人以上はいたと思います。その後事務所に移動し、懇談会をもちました。日曜日早朝にも関わらず、ここにも多数の会員が集まってくれました。別途報告があると思いますが、公山城RCからマッチンググラン트の提案があり、クラブに持ち帰って検討することにしました。その関連で、急遽、扶余に向かう途中、対象になる障害者の施設を見学しました。扶余では、白馬河を昔の黄布帆壱船を模した遊覧船に乗り、船上から3千人の官女が身投げをしたという落花岩を眺めたあと、一旦上陸し、阜蘭寺にある百濟王が好んで飲んだと伝えられる湧き水を飲んだり、美しい風景を楽しんだりしました。付近のレストランで昼食を一緒にしたあと、公山城を後にしました。公山城RCの方々には、足掛け二日、最初から最後まで本当にお世話になりました。この日はその後ソウルへ一直線、唄や踊りの韓国伝統公演を観賞した後、焼肉に舌鼓を打ち、忙しい一日を終えました。3日目の最終日は、朝鮮王朝の宮廷「景福宮」をのんびりと散策、衛兵の交代の儀式を眺めながら昔をのび、王宮の裏手に位置する青瓦台まで足を運び、記念写真を撮ったりして、帰国の途に着きました。

(村山記)



事務所での懇談会



西澤さんが何故か歌ってる